



八戸市市制施行88周年記念事業

忍ぶ川

鬼の骨

狐の
あしあと

特別展

三浦哲郎の

作品と
その素顔

立花義康氏
収蔵資料を
中心に



平成29年

10月12日(木)~17日(火)

10:00~18:00 デーリー東北ホール

《主催》八戸市・八戸市教育委員会・デーリー東北新聞社・三浦哲郎文学顕彰協議会
《お問い合わせ》デーリー東北新聞社販売事業局企画事業部 TEL 0178-44-5111(10:00~17:00)

入場 無料

できれば 鮎のような姿の 作品が書きたい。

三浦哲郎 *Tetsuo Miura*

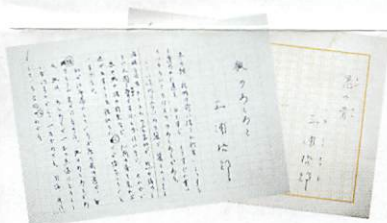
作家 昭和6(1931)年～平成22(2010)年
八戸市名誉市民 日本藝術院会員 旭日中綬章受章
八戸小学校・旧制八戸中学校・八戸高校(第1回生)卒。早稲田大学文学部仏文学卒。
昭和6年3月16日八戸市三日町に生まれる。
昭和20年一家は父の郷里、岩手県二戸郡金田一村へ疎開するが、哲郎氏は八戸市の母の実家などで高校卒業まで過ごす。
昭和36年「忍ぶ川」により第44回芥川賞受賞。
その他、数々の文学賞を受賞(新潮同人雑誌賞、野間文芸賞、日本文学大賞、大佛次郎賞、川端康成文学賞2回、伊藤整文学賞)。
芥川賞、泉鏡花文学賞、坪田譲治文学賞、野間文芸賞の選考委員を務める。
「十五歳の周囲」「少年讃歌」「白夜を旅する人々」「ユタとふしぎな仲間たち」など著書多数。

立花義康 *Yoshiyasu Tachibana*

歯科医 昭和6(1931)年～平成25(2013)年
昭和6年3月14日八戸市番町に生まれる。
芥川賞作家の三浦哲郎氏とは、誕生日が2日違いの幼なじみ。八戸小学校から八戸高校卒業まで同級生として、共に青春時代を過ごし、大学時代は東京の「青雲寮」で同室であった。
平成19年「三浦哲郎文学顕彰協議会」を設立し初代会長に就任。
三浦哲郎文学資料室を開設し、一般に公開するなど三浦文学の功績を広めることに尽力した。
平成27年9月、三浦哲郎氏からの手紙や、書、サイン入り著作など立花氏が収集した資料856点が立花義康氏のご遺族より、八戸市立図書館に寄贈された。

市制施行88周年を記念し、三浦哲郎氏関係資料880点を展示

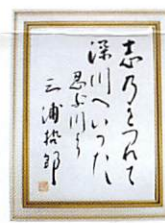
八戸市立図書館所蔵の三浦哲郎氏の愛用の品や著作、手紙、書、デーリー東北新聞社所蔵の貴重な生原稿など



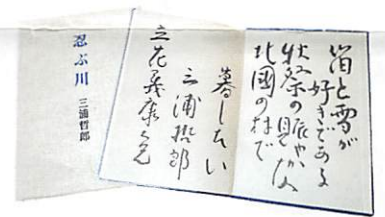
「狐のあしあと」「鬼の骨」など、デーリー東北新聞に掲載された作品の生原稿



自宅書斎で愛用していた執筆者。友人の立花義康氏と七尾泰博氏が本人の身体寸法を測りながら特別に製し、三浦哲郎氏に寄贈したもの



自著や母校校歌などを書いた、掛軸、色紙、屏風などの三浦哲郎氏直筆の書



発行部数限定特装本、初版本など。そのほとんどに立花義康氏宛ての直筆サインがある

ギャラリートーク

「三浦文学と南部の風土」 平成29年 10月15日 14:00～16:00

作品解説

森林康さん(三浦哲郎文学顕彰協議会副会長)による解説

作品朗読

やまびこの会、市内の中高生による朗読